

地方債(市債)の借入について

地方債残高を抑制するため、毎年地方債の借入総額を当該年度の公債費(地方債の元利償還金など)以下とすることを目標に予算編成に取り組んでいます。

経常的経費の示達時点(1月31日現在)において、政策的経費における地方債の借入可能額は12億6,330万円となりました。

項目	臨時財政対策債 ①	通常債 ②	合計 (①+②)
平成31年度公債費(A)	15億8,980万円	15億460万円	30億9,440万円
平成31年度経常的経費における地方債の借入見込額(B)	18億2,700万円	410万円	18億3,110万円
平成31年度政策的経費における地方債の借入可能額(C=A-B)	△2億3,720万円	15億50万円	12億6,330万円

※ 臨時財政対策債は、地方交付税の一部の代替措置であることから、臨時財政対策債を除いた場合の政策的経費における地方債の借入可能額は、15億50万円となります。

※ 平成31年度公債費(A)及び平成31年度経常的経費における地方債の借入見込額(B)は、平成21年度に借り入れた地方債の借り換え分(1億1,003万円)を除いているため、予算額と一致しません。

※ 平成31年度公債費(A)は、一時借入金利子分(500万円)を除いているため、予算額と一致しません。

政策的経費における地方債の借入可能額について

地方債残高を抑制するため、毎年地方債の借入総額を当該年度の公債費(地方債の元利償還金など)以下とすることを目標に予算編成に取り組んでいます。

平成30年度の予算編成においては、「はしご車の整備」や「下新木踏切道の改良」、「湖北分署等の整備」などの金額の大きな事業を実施することとしたため、政策的経費における地方債の発行見込額が発行目標額を上回りましたが、平成31年度の予算編成においては、目標を達成することができました。

今後も引き続き、地方債残高の抑制に努めることを常に意識した財政運営を行っていきます。

平成31年度政策的経費における地方債の発行目標額 ア	12億6,330万円
平成31年度政策的経費における地方債の発行見込額 イ	6億4,880万円
差引(ア-イ)	6億1,450万円

政策的経費の主な地方債(5,000万円以上)

手賀沼公園・久寺家線の整備	2億830万円
市営住宅の維持補修	6,610万円
消防施設等整備事業(湖北分署等の整備)	5,980万円
小学校施設の維持管理(給水設備の整備等)	5,580万円

※ 予算における地方債の金額は、その事業における借入限度額であり、実際の借入額は事業の執行状況に基づき減少することがあります。

[用語解説]

- 地方債(市債) 地方公共団体は、学校や庁舎等を建設する場合など、一時に多額の経費を必要とすることがあります。地方債とは、その資金調達のために負担する債務であって、返済期間が一般会計年度を超えて行われる借入金です。
- 臨時財政対策債 地方公共団体の財源不足に対処するため、平成13年度から地方交付税の一部の代替措置として、地方財政法第5条の特例により発行される地方債です。この臨時財政対策債の元利償還金相当額については、その全額が後年度普通交付税の基準財政需要額に算入されます。
- 公債費 地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金利子の合算額をいいます。